



まだまだいる潜在患者救済に全力で取り組む 全国労職部会第19回総会

全国労職部会第19回総会が7月26日から翌日の正午まで、東京浜松町チサンホテルにおいて行われました。



開会のあいさつでは、5月に事故で亡くなった職業性疾患・疫学リサーチセンターしばぞの診療所海老原医師と、6月21日急逝された建交労の顧問弁護士で全国トンネルじん肺根絶訴訟弁護団幹事長の山下登司夫弁護士に哀悼の意をこめて黙祷しました。



緒方部会長からは、「海老原医師と山下弁護士の遺志はしっかり受け継いで、私たちは運動を前進しなければいけない」と述べ、現在の安倍政権を批判した上で「私たちの運動と政治は関係しているので関心を強めていかないといけない」とも述べました。組織拡大については「専従者を配置し、わき目も振らずに拡大していく。医療機関を確保しなければ拡大はできない」そして、「全国にまだまだ潜在患者がいる。潜在患者をきちんと救済すること、労災職業病をなくせというスローガンの基に頑張っていきたい」と挨拶がありました。

中央本部を代表して角田委員長より「国連で7月7日に核兵器禁止条約が成立した。50カ国が合意すれば世界から核兵器をなくすことができる。残念なことに世界唯一の被爆国である日本政府は会議に出席せず、真逆なことをしようとしている」



と報告し、「中央大会を前に①憲法の問題について②労働者の働き方改革について、この2つのことに全力を挙げていく」また、全国トンネルじん肺根絶闘争については、「10年前トンネル根絶闘争では国と和解した。2万人そこそこの組合が、国と和解できるような団体は他にない。建交労を大きく強くするため全力で頑張ろう」と挨拶しました。

及川事務局長から第1~4号議案までの提案がされ、すべて採択されました。質疑討論では2日間で19名からの発言があり、新役員は今後を見据えて若い役員を5人増やし21名でのスタートとなりました。この総会に都道府県代表が29名、部会役員17名、傍聴22名が参加しました。

第5陣で最初 9月28日和解成立予定 東京地裁第5陣第8回弁論

東京地裁第5陣第8回口頭弁論は、7月27日12時半より地裁前にて宣伝を行い、その後抽選。1時半開廷しました。



今回は裁判長が交代していて、5月10日の第1次就労認定からの流れと、次回9月28日には和解の見通しとなることが報告されました。



その後、衆議院第1議員会館での報告集会では、水口弁護団事務局長が「5陣では東京地裁が最初に和解成立となる。8月上旬に最終就労認定を出し、和解条項案が作成され、それを原告・被告に総合させ、次回9月28日和解成立となる。提訴して1年半の目標はこれで達成、後に続く地裁も年内か来年初めには和解予定」と報告されました。

歴史の新たなページが開かれた 国連会議 核兵器禁止条約 多数国賛成

核兵器禁止条約を交渉する国連会議は7月7日、すべての日程を終え、核兵器禁止条約を賛成122、反対1、棄権1の圧倒的多数で採択しました。

条約は、その前文で核兵器の非人道性を告発し、核兵器による惨害を防ぐ唯一の確実な道として核兵器の廃絶の必要性を明確にしました。その上で、第一条では、核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、所有、貯蔵」、「使用と使用の威嚇」、「譲渡」、支配地域内での「設置や配備」を含むすべての行為を禁止した画期的なものです。

広島、長崎にアメリカが原爆を投下してからまもなく72年、被爆者をはじめ、世界と日本人々が願い続けたことが実現しました。

条約は、この採択をもって、9月20日に調印がオープンにされ、次のステージとして、すべての国連加盟国政府のこの問題に対する態度が問われることとなります。

核保有国、非保有国を問わず、すべての国の政府が、この条約を支持し、調印し、また、批准の手続きを進め、すみやかな発効のために、とりわけ、唯一の被爆国である日本の政府は、核兵器のない世界のすみやかな実現のために、先頭に立って行動することが求められます。

核兵器のない世界の実現を願い、核兵器禁止・廃絶の「ヒバクシャ国際署名」に、組合員のみなさんもお協力をお願いします。

あなたの「夏の思い出」募集

いよいよ夏は本番です。家族との旅行、地域のお祭り・花火大会、久しぶりに出会った友人、自分が丹精込めて育て咲いた花・実った野菜、様々な夏の思い出を送ってください。お電話でもメールでも結構です。できれば写真もお願いします。

2017年 8月の予定

- 8月2～3日 職業性難聴の電話相談
- 7日 県本部 第10回常任委員会
- 8～9日 北信越労職支部 61回執行委員会
- 11～16日 盆休み
- 19日 県本部 第191回執行委員会
- 21日 分会 第5回会議

ご案内

※ 第5回分会会議 8月21日(月)
瀬戸文化センター 11会議室 13:00～

核兵器禁止実現めざし・反核トラックキャラバン 今年も 千羽鶴に願いを託して



↓ 千羽鶴と一緒に執行委員のみなさん

今年も組合員の皆さん、家族の皆さんにお願いをして、鶴を折っていただきました。

集まった鶴で、綺麗な千羽鶴が出来上がりました。

今年は広島・長崎に原爆が投下されてから72年目を迎えます。建交労全国青年部は毎年反核トラックキャラバンに参加してきましたが、今年22回目となります。

7月30日に東京都庁前を出発。31日には愛知に入り、名古屋駅前宣伝します。翌日、名古屋を出発。8月5日広島で行われる世界大会をめざします。



組合員数

☆認定組合員数 **41人**

☆組合員総数 **43人**

